

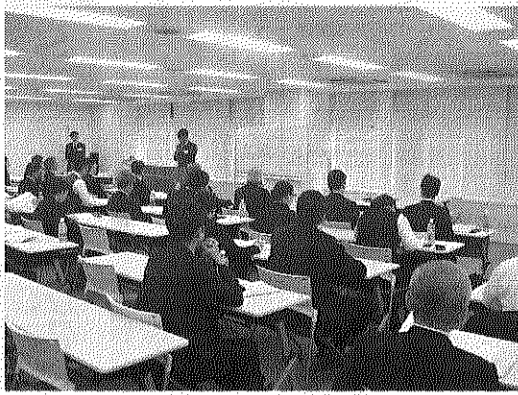
6月23日

世界90カ国から参加、50周年も記念

特集 企画

横浜で世界大会

国際葬儀連盟



↑ 業界健全化へ相談体制も整備へ (全葬連の認定試験講座)

シンポジウム、報告会も予定、各国情報共有

今年六月、横浜で世界の葬儀関連事業者が集う世界大会が開催される。主催する「FIA-ETIA」(国際葬儀連携)は九十九カ国が加盟する葬儀事業者の唯一の国際組織。全日本葬儀協同組合連合会(全葬連、石井時明会長)の北島廣副会長が会長を務める。一九六九年にパリで発足準備会が組織され、七〇年にモナコで設立総会が開かれた。今回の横浜大会は創立五十周年の記念すべき大会だ。日本での開催は十八年ぶり二回目だが、オリンピック・パラリンピックを前に訪日・滞日外国人が増加する中、内外の注目度は高い。

法制化など国際制度も紹介

今大会では、葬祭業に関する世界の法制化の現状、火葬や火葬場の実情、国際遺体搬送の課題などが報告され、日本から遺族意識の調査結果なども報告される。葬儀の形態は国によって違いがあるが、亡き人を「いねいに用いたい」とする折りの思いは各国・万人共通だ。どんな成果が生み出されるか、ネット広告の不当表示など葬儀関連トラブルが深刻化している日本において、各国法制度の運用も報告される国際大会に消費者団体も関心を寄せ

「安心・納得できる葬儀への想いは万国共通」

国際葬儀連盟の会長は全葬連副会長の北島廣さん。全葬連・南正事務局長によると、北島さんの海外行脚はハードで、昨年十一月のパリ訪問の際は、国際葬儀連盟の三役会に出席し、日本大会の内容や今後の指針を協議、各国役員に世界大会への参加を働きかけたという。

北島会長はボリビアで会長に就任以降、ボリビア、オーストラリア、パリ、ロンドンと全速力で世界を回っています。九十九カ国が加盟する国際葬儀連盟の世界大会ですので、最大で約七百人から八百人の参加を

グローバル化に対応、国際ルールも検討へ

の現況をめぐっているという。一つは、国際間の遺体搬送に伴う情報共有と書類の整備だ。火葬か土葬か、宗教などの違いによって各国で葬儀の形態は異なる。海外で亡くなった場合、自国に遺体を搬送する際、遺族のためにもスムーズに手続きを進めることが大切だ。あらかじめ国際ルールなどの情報を共有し、書類を整備しておくことが必要となる。二つ目の活動は、どの国

でも葬儀は地域の伝統文化として継承されてきた経緯を持つことから、その葬送儀礼文化を無形文化遺産としてユネスコに登録を求めた。葬儀を伝統文化として国際的に保護・継承していくことをめざしている。

そして三つ目は、加盟国・事業者間の研修制度の運用だ。国は違っても葬送儀礼を尊重する気持ちは同じ。それを相互に学び、遺族に寄り添い、亡き人を偲ぶ心の大切さを培うことをめざしている。日本にはこの

実際、ネット広告の不当表示、追加料金発生に絡んだ消費者トラブル、互助会加盟企業と消費者との解約紛争など、深刻な消費者被害やトラブルがあつたとを絶たない。

消費者団体からは、少なくとも葬祭業に登録制度を導入し、消費者への情報提供体制を整備することが必要との意見も提起されている(二ッポン消費者新聞・昨年九月一日号)。

遺族が安心して、納得する葬儀へと認識を深めあう契機に。

その点を交流しあう、大きな意義を持つ世界大会となる。

全葬連は受入体制を整備

「北島会長はボリビアで会長に就任以降、ボリビア、オーストラリア、パリ、ロンドンと全速力で世界を回っています。九十九カ国が加盟する国際葬儀連盟の世界大会ですので、最大で約七百人から八百人の参加を

こだわって、贅沢。

ここからだに、おいしいものを。 DyDo

DEMITASSE Premium

豆量1.5倍のコク 微糖 dydo コーヒー/糖類34%

DEMITASSE Premium

豆量1.5倍 dydo コーヒー

DEMITASSE Premium

ブラック dydo コーヒー/糖類34%

DEMITASSE Premium

豆量1.5倍 Latte dydo コーヒー

DEMITASSE Premium

豆量1.5倍 dydo コーヒー

DyDo Blend

バイドブレンド

DEMITASSE 一新

まざりあって、超えてゆけ。

ダイドードリンク株式会社